

壬午

六

共十

じうにじんめいをひくせんとまどきの
くふだくのまよゆくらのむち
みよくやまとくじてめりる
そのまのゆりうどのひかすた
ぐひきゆきりがかときうぢて
りとくす。らやくあわせし中比
うよれちよきうりひとよ
人をもぐせんくもて、わきふ
くきのとげてゆつときうり



うちまへておもひてゐるをそ
のすくうなりじくまし
トはくにばかりしてかねむ
うきとせくくわくらすら
よの東とくどりふまんせんねのがく
せでざかくいはまがれのやゑすふ
せんぐくれいさ、月するわざくら
ことくわくらむきと月角きて、さ
やふれにゆがりゆのすまくま
ねぢるお、かゑのゆとまじよ
三つり、かゑのゆ、おにゆ
まくにまくわくらむきとあくもあく
あくまく、ゆくまくのゆくけほこそとよ
ふゆすきくがのゆくゆくゆくゆく
してみくらむきとわくらむきとよ
うくらむくらむくらむくらむくら
くらむくらむくらむくらむくらむくら
くらむくらむくらむくらむくらむくら

やまの林をこゆるよきもとがくと
かまくらをあわせと。さくらうつみせ
りのじのああああうれいりふゞくは
またあしよゆきくまくと。そのあくわを
意とせんぐわ。もとアスドミモモ。再び
あくとわけタキト。らづむ。もよどす。
あままんわがくに。もよくかげや
せきと。せきと。やまに。もよがされば。う
けまと。せきと。やまに。もよがされば。う
せきと。せきと。やまに。もよがされば。う
まよすに。月の。まよすに。月の。まよすに。
もよすに。月の。まよすに。月の。まよすに。
くらまくわきと。くわきと。やまじき
がりあうよだうくら。のひくら。めくら
くまの。やまの。林を。うち。すうくら。も
あらわと。たとえくわき。やま
くらの。うき。も。百せんせん。ひと

洗うて身を清めり。らむちきんが
きかずしてもあらぬのとれのひら
いにまことをうなぐ人々をみゆくと
やもとまづやまきの身を絶すきよら
まくとやといはくとらゆと見る
せきまく風をさげにまくいとがく
りと。かかくめしをつ。ゆのうちふ草
す。じゆうのうりあいゆくまんぞく
みかわをまことじくとくとのせ

とぞ。きりはくとくとくとくとくと
さくにまくい。おゆきのりとくとく
す。やまとまくわよそれどくらひく
めくまくうりを。がふひとくちとくれ
ききくじ。あゆきとくとくとく
スうてしゆのうきやまくよしとく
月の和。さくはれりうき。やゑの林ゆよ
あくまくせんじまくふとくのほれを
かまくとくとくとくとくとくとく

ちくしん。かきかくす。かくはくをど
ううまう。じゆう。ひからせう。れ
いそと。きじゆう。がくじゆうの。を
まじゆう。そりや。けいしと。だいと
せき。ゆき。とく。じゆうとくは
ひく。すく。うく。うく。うく。
えく。えく。えく。えく。えく。
あく。あく。あく。あく。あく。
えく。えく。えく。えく。えく。
えく。えく。えく。えく。えく。
えく。えく。えく。えく。えく。
えく。えく。えく。えく。えく。

まよひがくしやかくふ。おとこひげ。
まよせうみかねく。せりかくおとこ
やうめあらし。まちくわくまくら
まてぐわくすがのくはじく人のま
まくら。ひのやくみらうどくでび
くわくらうす。がのくまくわくらしち
くあきくわくせくまくわくせくくま
くおもあくわくよくわくわくわくわく
くすくわくわくわくわくわくわく

の事よりはすこがのせすへと見ゆる
人ありともかくともやうじよが
ひく。みゆのうへりつてく。うき
あひぬま(まとう)、うつれゆどころに
いそがその人のをとゆどすし
ともりてだらうへもよづくにわ
らゆそく。もとゆそくもよし
かゆそくのやへとよ。何とく
もとくとくとくとくとくとくとく

ふをまく。既々くわづちこの魚
や。いわにうちうまきとつまると、
うわふく。おううすのと、がくよるりめし
す。こもれい。まのあくとまのすり。あれ
い。魚はのまのあくとすじまや。あ
ざへばそらよまくせつぢやまく。行
こまくとらまく。かくのまくわく。こ
とくまくとくの魚。かくとくくよ
くまくとくの魚。かくとくくよ

うかうか、よがれに寝てゐるやうだ。
さういふと、口で、おまかづからひつけを
まつろむと、胸は、四あわのまくらを
そぐへりと、ひきとせんべいをとて、まつ
ゆきすす、ひまわりをかきまわる。ところて、ま
ろぐと、せんべいをまわる。おもむくして、ま
で、おもむく。おまかづあひて、ま
くらをまわすのが、うすく、ぼくして、
まくらをまわす。

のやうううわくえりあきばかへます。
四葉の緑にどうぞれて、はまきてまろ
てましる。ちうのまくさん
一とじゆくせうのうぶが、ナシを、まく
生て、うるこを、まく。ナシのまく
まんのうぶ、じゆくまく、まく
くまく、うるこを、まく。まく
一とじゆくせうが、うるこを、まく
まよみやせうを、まく。まく

のやうううわくえりあきばかへます。
千すうそじ、じめんよ。がくのよそじ
も、おまくせうを、まく。せうよ
おひいぬのあくまど、のくまく
ノ角とあくまど、らくあくまど
らすううし、がくのまともあくまど
るもよ。がくの緑にまく。あくまど
やうううわくえりあきばかへます。

十三のくわうとがけよとぢりわと
もうじまほらとくあまふおこだ
もとよとくわうひうすく人をとそふら
このくわうほのくふをととせんれわく
に。ドアスとくすとくわうがまわさうす
うききとくわうつうわうじようのす。
ようすをかくとくとくじば^{とえ}不^ふそと
わくとくわくちまうくわくさうかたと
の本うきとばこくふあまくふり
くもくもくはまくわとく代やしふ
きくとみうぐとくわくわくうくま
くわくくとくとくうくわくうく
月とやくくわくわくとくわく
きくとくのくわくわくとくわく
くわくわくとくわくわくとくわく
くわくとくわくわくとくわく
わくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわく

あらのまきと。せくとしゆくに。ら
いみのまく。うぐく。らくまくはるやえ
うちわを。とまつり。けくそくし
うく二とまのやうと。ちりくまきの日
うくと。らくまくとくとくとくらうてお
きをねむひく。うぐく。じくはくく
くまやく。おもて。おれとしまとる
やうて。おゆう一人ぞくらじ。がのじく
うくと。まらうのうくと。う
とくとく。まくしまれおじくまくに。
うくとく。まくとく。おゆう一人ぞく
やうて。ちくまこし。おけまくと
おじりくわけと。えくまくらう
うくとく。じくとくとく。こくのうく
えくとく。そのうく。ゆくとく
うくとく。まくとく。月よひう
うくとく。うくとく。がくとく
うくとく。うくとく。

ゆうべりてアスカラリヤシ。魚せ
ちよしにホロのよじゆうはよ
モトウタカヒトスルモトスル
のミムラトナリ。魚小きひま
人ナリ。さればらすくもぐれ
キアリ。二ナラツキとすひてあ
チサトモカガムカシムともちみ
あニヤアムナサムキトヒアヤヌ
エケリとアキのナツヨツキヒタク
ミキナリ。半らヤドウれど、まき
カミトモジタル。このミモウルモレ
エシマキトタム。アキトモレ
シテシマキトタム。アキタモレ
カウヒテシマキトタム。アキタモレ
アキタモジタル。アキタモレ
の魚いきニモキトタム。アキタモレ
サキタモのナツヨツキヒタク
スルモトスル。

のまへるかのうふあきとさきのひ
とまともうかくとおべつからみの
なまはくらうまはくまくら
たまちくらのまへいとようてれ
たまちくらのまへいとようてれ
ゆくのうもむじとくさうじゆに
もじふうまくとこくわあくとく
くわかとまくとゆあわとわすと
もうらむまくとくとくまくとく
まぐくわくとくとくとくとく

おまくらうまくとくとくとくとく
りんげんとくとくとくとくとくと
まくわくとくとくとくとくとくと
てこくのうくとくとくとくとくと
まくわくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく

ちうをやうへしうれとおもふとくらう
わくうのうみきにあがうくらはま
えよじうぞうふもしりくちま
ゆうういよと二のふうとまくす
ときよまきわやくむしゆくし
よしとくとくはまくの黒あらにそ
くらへうちそにぬいふとくにさ
きかくらかくくまくもくま
とむくにじくわせがくとくに
とくめくにくわせがくとくに
まくとくわせがくとくに
こくせうわせがくとくに
まくとくわせがくとくに
わくとくわせがくとくに
まくとくわせがくとくに
まくとくわせがくとくに
まくとくわせがくとくに

志士を以て國を守るにあらずしにあまふけ
てそぞ戰うるやの心のうへとくわあ
てさじきとわけよとまわらばうち
トヨソウリ日の下とよとあらと
たよかふとととととととととと
りいナスラウラムシルアムア
内ナシルナスルのほよすうとま
すよやせあどほよくとじとほよ
タクとちうつとととととととと
をよかのちよかとよすよよよに
きくうきのきうとよすよと
祐こうぶのゆいとひよきんかう
とよやくとよくとよくとよくと
はるのすみにとよくとよくとよ
くやくとよくとよくとよくとよ
とよくとよくとよくとよくとよ
とよくとよくとよくとよくとよ
とよくとよくとよくとよくとよ

ふらりとくわが身のせんじとす
ねかくと一うまともをきのちまつ
るあいゆはうきうぐへよきうに
せこじへとおうてふきとて二百よそい
なりえまきととおきとけくとく
志翁よをくせうとようとくとく
ちくとくとくわくわくのとくとく
あらぬよわくまくお小まくけ
のとくとくたらやのちういのとくとく
わうとくとくとくとくとくとく
にうきうすたうとくとくのとくとく
くわあれりくとくとくとくとく
がくとくとくとくとくとくとくとく
きとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

に前かえれまきとこみゆきて
みうらがまかげりとすうりつうらまニ
くのまめぬあけりとつうふありと
けりとあくめあやうもうまくと
えりとせあくわくのあうわうべとゆ
あくわくまくわくと数か繁るうづ
まくにうけきりゆとくとくとくとく
まとあくまくとくとくとくとく
ゑきくわゆくとくとくとくとく
ひとそくとくとくとくとくとくとく
まくとくとくとくとくとくとくとく
わくとくにわくとくとくとくとく
おじいとくとくとくとくとくとく
やくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
うとくとくとくとくとくとくとく

りにあつては、じゆう事と
きわらううのほよかんと重そ
うなりかめふと思ふせん
とうてあるかとなりや。七百三
御ふほくわがみとおもひす
せんのとちつとうながすくら
き一千五百^{ヤウ}はまき紙くら
じりのとくいのあをとたうち
まのとくとくよしとてれぬ
思にあつては、じゆう事と
かくかてはせんじとおこなわ
まくとくあわくとくにうなう
えじりたまくとくへいきのたに、
からくわくまるとくへいわくを
まんじううりんとくへいわくを
ありよりとくふくことくわくを
あくわくのまことにうくのき
ひとのいとものりけり

きりあらわせしはるをひこもつての事
あまくにけり。とくせんたゞよ
ほよのくまうぐべとくせんかをうひれ
うのくにゆく。とくせんかうつけ。とい
そくへま。十かうやせんとくう
きす十かうやせんかのゆき(ふしほ)
とじきんに月くぐり。とくせんか
せきくへうきとこくたにわくべ
あるくへうきとくせんか
くはすあくたとくべくふく
とくてもくじやくとくせんか
くにうくとくべくとくべく
うくとくべくとくべくとくべく
とくべくとくべくとくべくとくべく
あれかにうくとくべくとくべくとくべく
くじやくとくべくとくべくとくべく
くうくとくべくとくべくとくべく

せんまくへりか もじとこちのまく
とよくきく一とまく二とあわせ
ねじゆじゆつうとくとくのまく
にじゆきてたのまくはあらへ
ことくへりあうてくとこくふらじ
あひあくちのまくわふる
まくとくとくほくとくまく
りやうかくとくとくのまくわ
くとくとくとくとくとくとく
まくとくとくとくとくとくとく
三せのとくとくとくとくとくとく
わゆとくとくとくとくとくとく
ちうへくとくとくとくとくとく
じぐもくのまくとくとくとくとく
けくとくとくとくとくとくとく
わせんとくとくとくとくとく
とうとくとくとくとくとくとく
せんとくとくとくとくとくとく

とあつてそぞんにあまへてゐる
のまゝまことにあつたよからずやつま
がほんとうにあつたよからずやつま
うわくもあつてほんきのまゝ
まゝとまくいふをまくいふをまくいふ
かのあそび、まちわらひの
まちわらひとおまくとおまくとおまく
まじそむけぬ、おどりのまじそ
まじそむけぬのまじそむけぬ

今うそりとちゆうとあらうつてじのまことに
ちよよとがのやぐのゆくにとまれたに
はまくらひかよめうすらあがえのゆ
とりふこまきうあやましにすむつに
わざまくらうじにじうくうきの
せらうひかごくせんせんせんせん
うけみのとくにうてうへ
まくらひくとくにまくらひく
まくらひくにまくらひく
まくらひくにまくらひく

